

船舶事故調査報告書

平成25年8月1日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成25年4月26日（金） 朝～17時30分ごろの間）
発生場所	不明（岡山港～香川県小豆島町所在の福田港北1号防波堤灯台から真方位024° 5.7海里（M）付近の間）
事故調査の経過	<p>平成25年4月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。</p>
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート ロア、2.7トン 271-38109岡山、ロア・ハウジング株式会社 9.10m (Lr) × 2.34m × 0.76m、FRP ディーゼル機関、228kW、平成24年11月
乗組員等に関する情報	船長 男性 69歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成7年12月21日 免許証交付日 平成22年8月2日 （平成27年12月20日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、香川県小豆島周辺で釣りをを行うため、平成25年4月26日朝方に岡山港のマリーナを出港した。</p> <p>船長の家族は、船長が、ふだん、帰ってくる時刻になっても帰ってこず、船長の携帯電話に電話しても連絡が取れなかったため、16時ごろ118番通報した。</p> <p>海上保安部は、巡視艇と航空機を出動させて捜索に当たり、17時30分ごろ、福田港北1号防波堤灯台から024°（真方位、以下同じ。）5.7M付近において、無人で左旋回を続けていた本船を発見した。</p> <p>本船は、海上保安官が操船して定係地に入港した。</p> <p>航行中の油タンカーは、5月1日13時17分ごろ、小豆島町所在の大角鼻灯台<small>おかどはな</small>から157° 5.2M付近において、うつぶせ状態で漂流していた船長を発見し、118番通報した。</p>

	<p>海上保安部は、巡視艇を派遣して船長を収容した。</p> <p>船長の死因は、溺水であり、死亡推定時刻は、4月26日15時00分ごろと検案された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西、風力 4、気温 約14～16℃、視界 良好</p> <p>海象：波高 約1m</p>
その他の事項	<p>船長は、約20年間プレジャーボートに乗船し、ふだん、朝方出港して小豆島周辺で釣りをを行い、15時ごろ帰港していた。</p> <p>船長の健康状態は、良好であった。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、4月26日朝に岡山港を出港したのち、17時30分ごろ、福田港北1号防波堤灯台北北東方沖において、無人で左旋回を続けていたところを発見されたことから、この間において、船長が航行中に落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、岡山港を出港したのち、福田港北1号防波堤灯台北北東方沖に至る間を航行中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落水した際の連絡手段として防水型携帯電話を常に所持しておくことが望ましい。